

保証書

持込修理

型番	SI-311L		
お客様	ご住所	〒□□□ □□□□ TEL.	
	お名前	様	
保証期間	本体	お買い上げ日から 1年	お買い上げ日 年 月 日
	販売店	住所・店名	TEL.

販売店様へ：太ワクの中は必ず記入してお渡しください。

- この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについて、ご不明の場合は、お買い上げの販売店、またはシュアーお客様相談センターへお問い合わせください。
- お客様の正常なご使用状態で、万一故障した場合は、本保証書記載内容によりお買い上げの販売店が無料修理いたします。
- 左の欄に記入のない場合は有効とはなりませんから必ず記入の有無をご確認ください。もし記入がない場合は、直ちにお買い上げの販売店にお申し出ください。本書は再発行致しませんので紛失しないよう大切に保管してください。

保証規定

- ①保証期間内(お買い上げ日より1年間)に、正常なる使用状態において、万一故障した場合には無料で修理いたします。
- ②修理は、お買い上げの販売店に必ず本保証書をご提示の上ご依頼ください。
- ③ご贈答、ご転居の際は、事前にお買い上げの販売店、電気店へご相談ください。
- ④次のような場合には、保証期間内でも有料修理になります。
イ)使用上の誤り、不当な修理や改造による故障及び損傷
ロ)お買い上げ後の輸送、移動、落下等による故障及び損傷
ハ)火災、地震、風水害、落雷、塩害、ガス害、その他天災地変、公害及び異常電圧などによる故障及び損傷
ニ)車輛、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷
ホ)一般家庭用以外(例えば業務用)に使用された場合の故障及び損傷

年 月 日	サービス内容	点 検 印
・ ・		
・ ・		
・ ・		

株式会社 石崎電機製作所

シュアーお客様相談センター
048-931-3110

〒340-0807
埼玉県八潮市新町9
受付時間：
月～金の9時～12時 / 13時～17時
※祝日・年末年始・夏季などの休業中を除く

<http://www.sure-ishizaki.co.jp>

SI-311L・16/03・T・C

SI-311L

家庭用

100V

1170W

SURE

男前

取扱説明書

このたびはコードレススチームアイロンSI-311Lをお買いあげいただきまして誠にありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書(保証書付)を最後までお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになったあと、いつでも必要な時に取り出せるように所定の場所に必ず保管してください。

01～02 各部の名前

03～08 安全上のご注意

09～14 ご使用方法

15 アイロンの上手な使い方

15 知っておいていただきたいこと

16 お手入れと保管

17 故障かな?と思ったら

17 仕 様

18 保証とアフターサービス

Back
Cover

保証書(裏表紙)



コードレススチームアイロン / SI-311L

コードレスアイロンとは

アイロンをスタンドに置くと、ヒーターに通電されアイロンのかけ面に熱を蓄え、かけるときにその余熱を利用します。アイロンかけ中はかけ面の温度が除々

に下がりますので、「衣類を整えているとき」や「アイロンを使用していないとき」に、アイロンをスタンドに戻し給電しながら使用してください。

各部の名前

注排水口フタ

小さな穴はフタを閉める時の空気抜きのための穴です。使用中水がこぼれる場合がありますのでフタは必ず閉めてご使用ください。給排水のときだけフタを開閉します。

注排水口

注排水口のフタを開け、給水カップで水を給水します。使用後、残った水をここから捨てます。

MAX 目盛り

「MAX」(満水)表示以上に水を入れないでください。

赤 印

この印以上引き出さないでください。

電源コード

約1.5mのゴムコードです。

差込プラグ

定期的にはこりや汚れを取り除いてください。

スチームボタン

スチームボタンをカチッと音がするまで押すと、スチームとドライが切り替わります。

ショットボタン

ボタンを強く押し下げるとショットスチームが噴出します。

温度設定ボタン

繊維に合わせて温度を調節します。設定温度に達するとランプが点滅から点灯になりブザー音が1回鳴ります。(p.9参照)

温度表示ランプ

水タンク

スタンド

接続端子

ローラー

給電ピン

○ H
○ M
○ L
○ OFF

SET

SET

(温度設定ボタン)

操作順番

OFF (切)

▶ L (低温)

▶ M (中温)

▶ H (高温)

OFF → L → M → H → OFF

※以降、最初から繰返し

※設定温度に達すると点滅から点灯になりブザーが鳴ります。

とって

収納のとき

ケース

フック部

①
両側のボタンを
押しながら、ケース
を持ち上げます

②持ち上げる

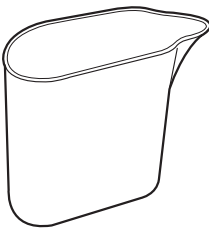
収納のとき

ケースを上から「カチッ」と音がするまで押し下げます。

外すとき

両端のフック部のボタンを押しながらケースを持ち上げます。

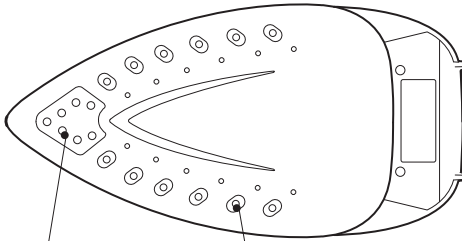
付属品



給水カップ 1 個 (200ml)

かけ面

表面にはセラミックコーティングがしてあります。



ショット噴出孔

スチーム噴出孔

安心機能

電源切り忘れ防止機能 (オートパワーオフ)

スタンドに約15分放置すると、自動的に通電を停止させます。

水漏れ防止機能 (オートバルブ)

かけ面の温度が下がると水漏れ防止弁が作動し、スチームが止まります。

安全上のご注意 (その1)

ご使用の前に、「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また、注意事項は危害や損害の大きさと切迫の程度

表示と意味は次のとおりです。

⚠ 警 告

この表示を無視して間違った取り扱いをすると、使用者や近づいた方が死亡または重傷を負う可能性が想定されることを表しています。

⚠ 注 意

この表示を無視して間違った取り扱いをすると、使用者や近づいた方が障害を負う可能性が想定されること、また、物的損害のみの発生が想定されることを表しています。

※物的損害とは、機械、建物、家屋、家財及び家畜、ペットにかかわる拡大損害を示します。

具体的な絵表示には次の意味がありますので、十分に理解してお読みください。



分解禁止

⊘は、禁止（してはいけないこと）を示します。

具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示しています。上図の場合は「分解禁止」を表します。



プラグを抜く

●は、強制（必ずすること）を示します。

具体的な強制内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示しています。上図の場合は「差込プラグをコンセントから抜くこと」を表します。

⚠ 警 告

異常・故障時にはすぐに使用を中止し、差込プラグを抜く。

- 電源コードを動かすと通電したり、しなかったりする。
 - コゲくさい臭いがする。
 - 電源コードや差込プラグが異常に熱い。
- などの症状が出たら、すぐに販売店またはシュアーお客様ご相談センターへ点検・修理を依頼してください。

シュアーお客様ご相談センター

048-931-3110



必ず行う



プラグを抜く

⚠ 警 告

取り扱いに不慣れな方や子供だけで使わせない。幼児の手の届くところで使わない。

やけど・感電・けがの原因になります。



禁止

電源コードを収納する時は、差込プラグを持って巻き取る。

差込プラグが当たって、けがの原因になります。



必ず行う

濡れた手で温度設定ボタンの操作をしない。

感電やけがの原因になります。



濡れ手禁止

カーテンなどの可燃物の近くで使わない。

火災の原因になります。



禁止

差込プラグはコンセントの奥までしっかり差し込む。

感電・ショート・発火の原因になります。



必ず行う

濡れた手で差込プラグを抜き差ししない。

感電の原因になります。



濡れ手禁止

スタンドの接続端子にピンや針金で触れない。

感電の原因になります。



禁止

修理技術者以外の人は、絶対に分解・修理は行わない。また改造はしない。

異常動作して感電・発火し、けがの原因になります。



分解禁止

本体を水につけたり、水をかけたりしない。

ショート・感電の原因になります。



水濡れ禁止

電源は交流100Vで定格15A以上のコンセントを単独で使う。

他の機器と併用すると発熱による火災の原因になります。



必ず行う

電源コードや差込プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない。

感電・ショート・発火の原因になります。



禁止

電源コードを傷付けたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしない。また、重い物を載せたり挟み込んだりしない。

コードが破損し、感電・ショート・火災の原因になります。



禁止

安全上のご注意 (その2)

警告

差込プラグにピンやクリップやごみを付着させない。

感電・ショート・発火の原因になります。



禁止

差込プラグのほこり等は定期的に拭きとる。

プラグにほこり等がたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。



必ず行う

差込プラグをなめさせない。

乳幼児が誤ってなめないように注意する。

感電・けがの原因になります。



禁止

使用時以外は差込プラグを必ずコンセントから抜く。

けが・やけど・絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因になります。



プラグを抜く

電源コードに足などを引っかけないように注意する。

けがや故障の原因になります。



必ず行う

差込プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の差込プラグを持って引き抜く。

感電・ショート・故障の原因になります。



必ず行う

アイロンかけ以外の目的で使用しない。

過熱・異常動作による発火・やけどの原因になります。



禁止

アイロンを使用していないときは、必ずスタンドに戻す。

立てて置くとやけどやけがの原因になります。



禁止

使用中は本体から離れない。

火災の原因になります。



禁止

風呂場やシャワー室などの湿気の多い場所でアイロンかけはしない。

火災・感電の原因になります。



風呂・シャワー室での使用禁止

着用したままの衣類にかけない。

やけどの原因になります。



禁止

湿った衣類(霧吹きした衣類)は、ドライでアイロンかけをする。

スチームでおこなうと湯滴が出て、やけどの原因になります。



確認

アイロンの近くで可燃性ガスなどが発生するものを使用しない。

火災の原因になります。



禁止

壁や家具の近くでは使わない。

熱で壁や家具を傷め、変色・変形の原因になります。また、本体の故障・変形や火災の原因になります。



禁止

注意

不安定な場所の上では使用しない。

毛足の長い敷物や不安定な所に置くと、転倒して敷物の損傷、けが・やけどの原因になります。



禁止

熱いスチームに触れない。

やけどの原因になります。



接触禁止

使用中・使用直後は高温部(かけ面・スタンド・水タンク下部)に触れない。

やけどの原因になります。



接触禁止

アイロンを傾けたり、前後にはげしく動かさない。

やけどの原因になります。



禁止

火気(コンロ・ストーブ)の近くやほこりの多いところ、水のかかるところでは使用しない。

故障や破損、ショート・発火及び感電・漏電の原因になります。



禁止

市販のかけ面カバーは使わない。

誤動作の原因になります。



禁止

ビニールクロスなど熱に弱い敷物の上や、じゅうたん、新聞紙、ダンボールなどや量の上では使用しない。

火災の原因になります。



禁止

通電直後にスチーム/ショットスチームを使わない。

かけ面から水もれすることがあります。



禁止

注 意

水をこぼさない。
誤動作の原因になります。
水がこぼれたときは、布で拭き取って
から使用してください。



水濡れ禁止

ショットボタンを連続して早く押さ
ない。
3秒以内に早く押すと湯滴が出てや
けどの原因になります。



禁止

ボタン・ファスナーなどの固いもの
にアイロンかけはしない。
かけ面の傷付き・コーティングの剥
れの原因になります。



禁止

業務使用は行わない。
一般家庭用のアイロンです。
ご使用方法を理解せずに不特定
多数の方や業務でご使用されるこ
とはアイロンの早期故障や重大事
故につながります。



禁止

水は蒸留水または水道水を使用す
る。
にごった水などを使うと、水アカが
たまったり腐食や故障の原因にな
ります。



必ず行う

衣類などに付いているアイロンマー
ク(絵表示)を必ず守る。
衣類などのこげ・変質などの原因に
なります。(絵表示の説明はp.9を
ご覧ください。)



必ず行う

スチーム使用のときは、スプレーの
りを使用しない。
かけ面にのりが付着し、アイロンか
けがスムーズにできなくなることが
あります。



禁止

ショットスチームの勢いが弱くなっ
たらショットボタンを押さない。
湯滴が出てやけどの原因になります。



禁止

お手入れ及び持ち運ぶときや保管
するときは、アイロンが十分に冷め
てから行う。
やけど・火災の原因になります。



必ず行う

給水時、必ずスチームボタンを「ド
ライ」にする。
かけ面から水もれがあります。



必ず行う

アイロンかけしている衣類などが
異常に発煙したり発火した場合は、
すぐに温度設定ボタンを「OFF」
にし、差込プラグを抜く。
火災の原因になります。



必ず行う

水タンクへの給水は「MAX」目盛り
まで。
目盛り以上に入れると、使用中に水
がこぼれます。



確認

通電しないとき及び保管中は、必ずス
チームボタンをドライの位置にする。
水タンク内部の残水により、スチー
ム噴出孔から水もれしたり、アイロ
ン内部が腐食します。



必ず行う

お手入れのときは、差込プラグをコ
ンセントから必ず抜いて行う。
感電事故の原因になります。



プラグを抜く

アイロン内部にピンや針金などの
異物を入れない。また、衣類に縫い
針などを刺したままアイロンかけを
しない。
感電したり、ショートや故障の原因
になります。



禁止

落下などにより本体が破損した場
合は、修理の依頼を行う。
感電事故の原因になります。



必ず行う

3～5年に一度は定期点検を行う。
本体内部にほこりなどがたまったま
ま長時間使用すると、火災や故障
の原因になります。
(有償点検となります。)



必ず行う

ケースは、スタンドに確実にセット
する。
アイロンがスタンドから落下し、け
がの原因になります。

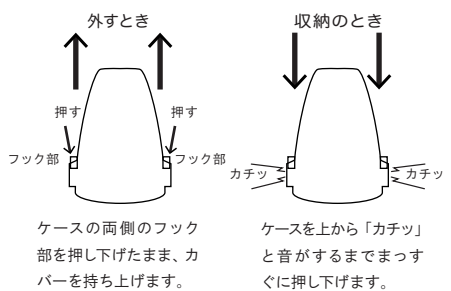


必ず行う

ご使用方法 (その1)

使いはじめる前 | ケースの外し方

両端のフック部のボタンを押しながら持ち上げます。



温度設定の仕方

H (高温)

M (中温)

L (低温)

SET

温度設定ボタン

温度設定ボタンを押して布地に合った温度に設定。

温度表示ランプ

アイロンが適温になると温度表示ランプが点灯します。点滅時は温度調節中です。点灯になってからご利用ください。アイロンをスタンドから外すとランプが消灯します。

操作方法

1) はじめにアイロンをスタンドにセットすると、表示ランプが「OFF」→「L」→「M」→「H」→「OFF」の順に点灯します。

2) 温度設定ボタンを1回押すごとに「L」→「M」→「H」の順に切り替わったあと、再び「OFF」のランプが点灯します。

温度設定位置	L (低温)	M (中温)	H (高温)
かけ面の温度	約120℃	約160℃	約200℃
絵表示			
衣類・布地の種類	アクリル・アクリル系 ポリウレタン ポリプロピレン	絹・毛・ナイロン・ ビニロン・レーヨン(長繊維)・ キュプラ・アセテート・ ポリエステル	綿・麻・レーヨン (短繊維) ポリノジック
設定温度になるまでの時間	約 40 秒	約 1 分	約 1 分 20 秒

※ビニロンには湿り気を与えてアイロンをかけないでください。

絵表示の見方

～印はあて布をする意味です。

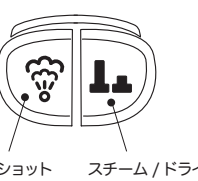
布地の裏側からかける意味です。

アイロンかけはできません。

※その他[スチーム浮かしかけ]「スチーム禁止」などの表示があれば、その表示に従ってください。

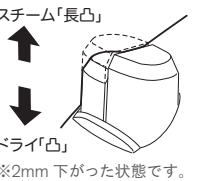
スチーム使用のポイント

ショット・スチームボタン



「スチーム」への切り換え直後は、スチームが出にくいことや、かけ面の温度により不規則に出る場合がありますが故障ではありません。

スチームボタン



スチームの出始めに白い粉が出る場合がありますが異常ではありません。周囲の安全を確認し、スチームを空噴出してからアイロンかけを行ってください。

スチームアイロンで使用するとアイロンや水タンクの外側に水滴が付着する場合があります。スチームが結露するため異常ではありません。水滴が多い場合は拭き取ってください。

オートパワーオフ / 電源切り忘れ防止機能

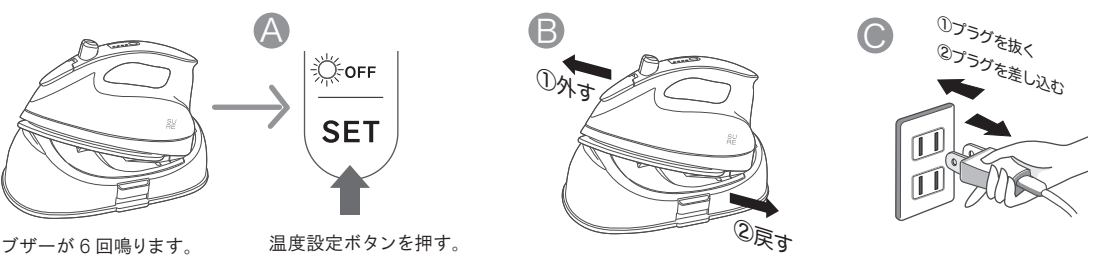
差込プラグをコンセントに差し込んだままスタンドに約 15 分以上放置すると、自動的に加熱通電が停止します。
(そのときブザー音が 6 回鳴り、温度表示ランプ「OFF」が点滅します。再度通電するときは A～C のいずれかの方法で行ってください。)

オートバルブ / 水漏れ防止機能

かけ面の温度が下がると水漏れ防止弁が作動し、スチームが止まります。作動するとき(一定温度に上昇し、下降したとき)内部で「カチッ」と金属音がしますが、水漏れ防止弁の動作によるもので異常ではありません。

再度通電するときは A～C の方法で行ってください

- A 温度設定ボタンを押して布地に合わせて再度温度設定をする。
- B アイロンを一度スタンドから外し、再度スタンドに戻す。
- C 差込プラグを一度コンセントから抜き差しする。



⚠注意

おかけになる布地に日本工業規格「JIS」で定められた絵表示がある場合は、その絵表示に従い温度設定ボタンで温度設定を合わせてください。

絵表示がない場合は、おかけになる布地に合った温度設定を温度設定ボタンで合わせてください。混紡の場合は、低い方の繊維温度に合わせてください。

低温・中温および熱に弱い布地には「あて布」をするか「ためしかけ」をしてください。布地のテカリを防止するには「あて布」をしてください。

布地に合った温度設定でアイロンかけをしていても、布の上で止めたり、極端にゆっくり動かしたりすると布地をいためることがありますので注意してください。

スチームアイロンとしての使い方

1 水タンクに給水する

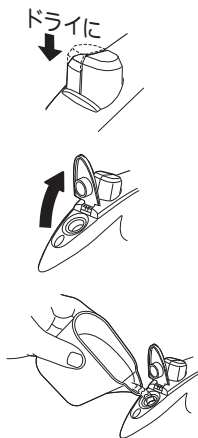
給水し、スチーム使用の準備ができるまで差込プラグをコンセントに差し込まないでください。

1) スチームボタンは、必ずドライ「凸」にしてください。

2) 注排水口フタを開けます。

3) 必ず付属の給水カップを使い「MAX」目盛り以下まで水をゆっくり入れてください。こぼれたら、拭き取ってください。

4) 給水が終わったら注排水口フタを確実に閉めてください。



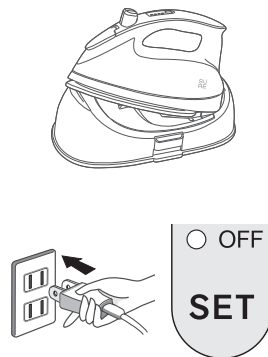
△注意

次の水は入れないでください。ミネラルウォーター、軟水器の水、アルカリイオン製水器の水、香料を含んだ水など。

2 温度設定をする

1) アイロンをスタンドにセットし、電源コードをていねいに引き出し、差込プラグを正しく配線された交流100Vのコンセントに、根元までしっかりと差し込んでください。

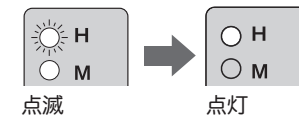
2) はじめに表示ランプが「OFF」→「L」→「M」→「H」→「OFF」の順に点灯します。
※スチームが使用できる温度は、「H」と「M」です。



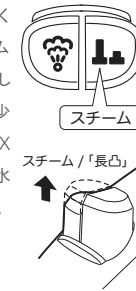
3) 温度設定ボタンを押して、布地にあった温度設定に合わせてください。
※p.9の「温度設定の仕方」と「絵表示の見方」の項をご覧ください。

3 使用開始する

1) 適温になると温度表示ランプが点滅から点灯に変わります。
(その時ブザー音が1回鳴りお知らせします。)
※アイロンをスタンドから外すと温度表示ランプが消灯します。



2) アイロンを水平にしてスチームボタンをスチーム「長凸」に切換えるとスチームが噴出します。
スチームが出にくいときは、スチームボタンを数回押してください。水が少ない場合は、MAX目盛り以下まで水を入れてください。



3) アイロンをスチーム台に戻すときは、必ずスチームボタンをドライ「凸」に切り替えてください。

お知らせ

アイロンをスタンドに戻したときに、しばらくは少量のスチームが出ますが故障ではありません。アイロン内部の水路に残った水がスチームとして出るためです。

アイロンをスタンドに戻したときに温度表示ランプが点滅した場合は表示ランプが点灯に変わってからご使用ください。

連続してスチームかけができる時間は、高温「H」設定で最大約100秒です。使用条件によって短くなる場合があります。

△注意

スチームは高温ですので、やけどなどに十分注意してください。

使用中は本体から離れないでください。火災の原因になります。

使用中・使用直後は高温部(かけ面)に触れないでください。
やけどの原因になります。

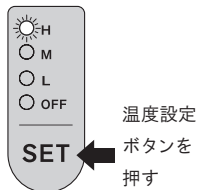
スチーム使用中にかけ面の温度が下がると「水漏れ防止機能」が働き、スチームの噴出が停止します。
停止する時、「カチッ」という音がしますが異常ではありません。

ショットスチームを使用する

高温「H」温度表示ランプが点滅後、点灯したら使用開始

1)

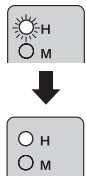
温度設定ボタンを押して温度設定を高温「H」にします。



温度設定ボタンを押す

2)

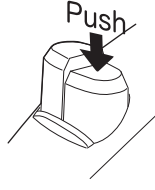
温度表示ランプが点滅後、点灯したら使用開始できます。



温度表示ランプが点滅から点灯に

3)

ショットボタンを押すと強力ショットスチームが出ます。



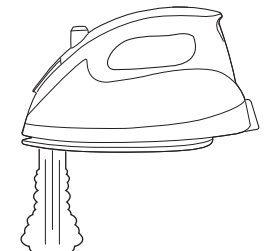
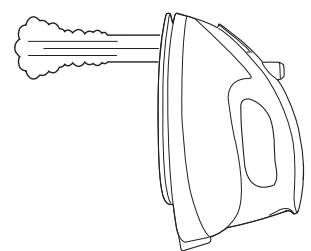
Push

4)

次のショットスチームを噴出させる場合は、3秒以上の間隔をあけます。連続で操作を行うと、湯滴が飛び出し、やけどや、衣類を汚す原因になります。

スタンディングショット/アイロンを垂直に

パワーショット/アイロンを水平に



⚠注意

- やけど、水漏れや湯滴の発生などの防止のため、使用方法を十分ご理解いただき、正しくお使いください。
- ・人に向けたり、着用した衣類にショットスチームをしない。
 - ・必ず高温「H」で使用する。
 - ・高温「H」以外での使用や、温度表示ランプ点滅中(加熱中)に使用しない。
 - ・横向きや逆さで使用しない。
 - ・ショットスチームは連続で行なわない。必ず3秒以上の間隔をあける。

4 使用後

1)

温度設定ボタンを「OFF」にしてください。

2)

スチームボタンを押してドライ「凸」に合わせた後、注排水口フタを開けて水を捨ててください。

3)

温度設定ボタンを高温「H」にし、約5分間通電し内部乾燥してください。

4)

腐食防止のため、スチームボタンは必ずドライ「凸」に合わせてください。

5)

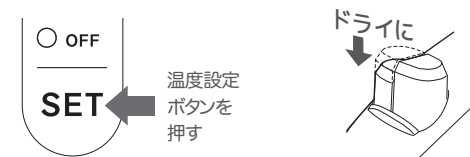
温度設定を「OFF」にして差込プラグをコンセントから抜いてください。

※「OFF」にしないで差込みプラグを抜き再び差込プラグを差込むとマイコンが記憶している前回の温度設定の状態で通電されることがあります。

ドライアイロンとしての使い方

温度設定ボタンとスチームボタンの使い方

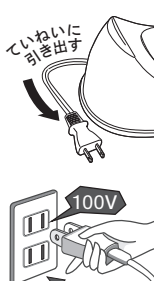
- 温度設定ボタンをかける布地に合わせてください。
- スチームボタンを必ずドライ「凸」にしてください。



1 温度設定する

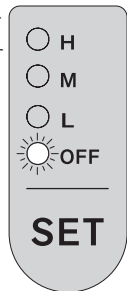
1)

アイロンをスタンドにセットし、電源コードをいねいに引き出し差込プラグを正しく配線された交流100Vのコンセントに、根元までしっかりと差し込んでください。



2)

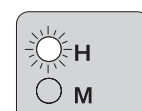
はじめに表示ランプが「OFF」→「L」→「M」→「H」→「OFF」の順に点灯します。



3)

温度設定ボタンを押すことで温度表示ランプが点滅します。布地にあった温度設定に合わせてください。
※9ページの「温度設定の仕方」と「絵表示」の項目をご覧ください。
※1ページの「各部の名前」の「温度設定ボタン」をご覧ください。

2 使用開始する



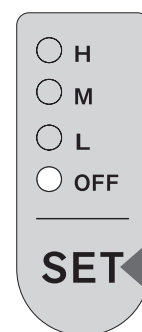
点滅



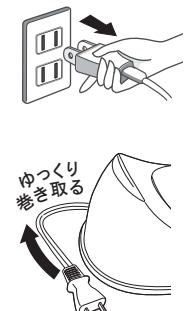
点灯

- 適温になると温度表示ランプが点滅から点灯に変わります。(その時ブザー音が1回鳴ります。)
- アイロンをスタンドから外すと温度表示ランプが消灯します。
- アイロンをスタンドに戻したときに温度表示ランプが点滅した場合は、点灯に変わってからご使用ください。

3 使用後



温度設定ボタンを押す



ゆっくり巻き取る

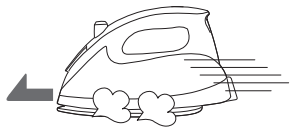
(「OFF」にしないで差込プラグを抜き再び差込プラグを差し込むとマイコンが記憶している前回の温度設定の状態で通電されることがあります。)

温度設定ボタンを「OFF」にして差込プラグをコンセントから抜いてください。

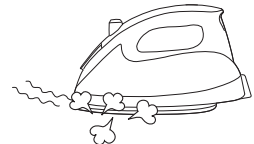
差込プラグを持ってゆっくり巻き取ってください。差込プラグが当たって、けがの原因になります。

アイロンの上手な使い方

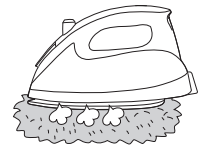
必要以上の力をかけないで衣類の上をすべらすように軽くかけるだけで十分です。



とくに折り目をはっきりつけたい所やガンコなシワの部分はしっかり押さえます。



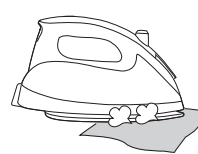
ウールやセーターのような毛足の長い繊維には「浮かしかけ」をしてスチームを当てます。



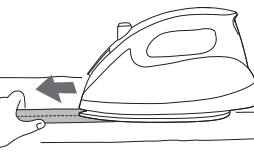
アイロンを往復させたりすると余分なシワができます。一定の方向に動かしましょう。



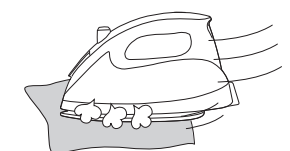
アイロンかけは、ドライで低温の布地から。繊維をいためる恐れなく、早くできます。



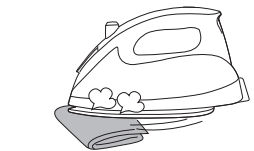
衣類の縫い目に合わせ、縫い目を引っ張り気味にするのがポイントです。



適度な温度と湿り気でサッと仕上げるのがコツです。



ハンカチなどの小さいものは、余熱を利用しておかけください。



知っておいていただきたいこと

かけ面のセラミックコーティングは磨耗してもそのまま使えます。汚れが付いたときは拭きとってください。

スプレーのりをご使用の場合は、スチームボタンを必ずドライ「凸」に合わせてご使用ください。スチームで使用するとアイロンのすべりが悪くなります。

長くお使いいただくと、かけ面のスチーム噴出孔に白い粉が付着してきます。これは水道水のカルキですので、濡れた布か、つま楊枝などで取り除いてください。白い粉が衣類に付いたときは、払い落としてください。

洗濯した衣類に洗剤が残っている場合、アイロンの熱を加えると茶色に変色する場合があります。

使用中、使用後にアイロンから金属音がしますが、異常ではありません。水漏れ防止弁によるものです。一定温度に上昇・下降したときに発生します。

コードレスアイロンはスタンドに置くと電気が通じ、設定温度を保ちます。アイロンをスタンドに「置くとき」または「はずすとき」にスタンドの接点部よりスパーク(火花)が発生することありますが、異常ではありません。

お手入れと保管

コード巻き取りのポイント

巻き取りは、一度電源コードを少し引き出し、次に戻すように行います。

電源コードがよじれているときは直してください。

電源コードを赤印まで引き出しているときは少し強めに引いてから巻き取ります。

アイロンが十分に冷めてから巻き取ってください。

警告

必ず本体、特にかけ面が十分に冷めてから行う。
ご使用後、手をかざし熱を感じた時は、冷めるまでお手入れを行わないでください。
やけどの原因になります。
電源コードは差込プラグを持ってゆっくり巻き取ってください。
差込プラグが当たって、けがの原因になります。

お手入れの仕方

本体・かけ面やスタンドの汚れは、やわらかい布などで拭いてください。かけ面の落ちにくい汚れは、中性洗剤か水をふくませた布で拭きとってください。
※金属ブラシ、みがき粉、シンナー、ベンジン、化学ぞうきんなどを使用しないでください。傷や変色の原因になります。

スチーム噴出孔のつまりは、つま楊枝などで取り除いてください。給電ピンの汚れは、乾いた布で拭いてください。
※給電ピン、接続端子は、紙やすりなどでみがかないでください。接触不良の原因になります。

保管時のご注意

1) 保管の際は、商品の入っていた箱にクッション材と共に収めてください。箱がない場合はポリ袋等に収めて保管してください。

2) 湿気の少ないところに保管してください。保管時は上に物を載せたりしないでください。

注意

濡れた手で抜き差しをしないでください。
ショート・感電やけがの原因になります。
本体を水につけたり、水をかけたり、丸洗いをしないでください。
ショート・感電の原因になります。
ご使用ごとに、必ずお手入れを行なってください。
ケースをスタンドに確実にセットしてください。
ケースの片側のみ引掛かったままを持ち運ぶとアイロン、スタンドが落下してけがの原因になります。

収納の仕方

- ①温度設定を必ず、「OFF」にします。
- ②スチームボタンを必ず、ドライ「凸」にして水タンクに水が残っているときは、水を捨てます。水漏れ、腐食防止のために行います。水を捨てた後水滴が残りますが、差し支えありません。
- ③差込プラグを持ってコンセントから抜き、一度電源コードを少し引き出しゆっくり巻き取ります。
- ④注排水口フタを閉じ、アイロンをスタンドに正しくセットし、ケースを上から「カチッ」と音がするまで押し込みます。確実にセットされているかを確認してください。

お願い

電源コードを通電したままや完全に巻き取らないままで、ケースをセットしないでください。

注意

保管する前に、必ずお手入れを行い、十分に乾燥させてください。スチームボタンは、必ずドライ「凸」に合わせて保管してください。



必ず行う

故障かな?と思ったら

次のようなときは、故障ではない場合がありますので、表を見ながらもう一度お調べください。

症 状	熱くならない	／スチームが出ない	／少ない	シヨットが出ない	水漏れする	シヨット・スチームの噴出孔つまり	かけ面の腐食・シヨット・スチームの噴出孔から	かけ面が滑らない	電源コードが巻き取れない	こげたりちぢむ	布地がOFFになる	スタンドに差し込みプラグをコンセントに差し込むとOFF以外になる	処 置
スタンドへのセット	●												電源切り忘れ防止機能(p.10参照)が作動していませんか。 アイロンを正しくスタンドにセットされていますか。 処置 アイロンをスタンドに確実にセットし直してください。
差込プラグ	●												差込プラグはコンセントにきちんと差し込まれていますか。 処置 差込プラグをコンセントに確実に差し込み直してください。
温度設定ボタン	●		●	●						●			適切な温度設定がされていますか。 処置 温度設定表示を再度確認してください。
	●										●		使用中にアイロンをスタンドにセットしないで長時間おくと温度設定が「OFF」になります。 処置 再度温度設定をしてください。
			●	●									温度設定表示が高温「H」になっていますか。 処置 温度設定表示位置を再度確認してください。
												●	ご使用後、「OFF」にしましたか。 処置 「OFF」にしないまま差込プラグを抜き、再び差し込むとマイコンが記憶している前回の温度設定になることがあります。使用後は必ず「OFF」にしてください。
温度表示ランプ		●	●	●									点滅時にご使用されていませんか。 処置 点灯が変わってからご使用してください。
スチームボタン		●											スチームボタンがドライ「凸」になっていませんか。 処置 ①スチームボタンを押し上げてスチーム「長凸」にセットしてください。 ②アイロンを水平にしてスチームボタンをスチーム「長凸」ドライ「凸」数回切替えた後再度スチーム「長凸」にセットしてください。
シヨットボタン			●	●									温度設定表示が高温「H」になっていますか。 処置 ①温度表示ランプの位置を再度確認してください。 ②不要の布地などの上でシヨットボタンを数回「空打ち」してください。 ③温度表示ランプ点灯後、シヨットボタンを3秒以上間隔空けて操作してください。
給電ピン	●												給電ピンが汚れていませんか。 処置 p.16「お手入れの仕方」を参照してください。
シヨット・スチーム噴出孔		●	●			●							シヨット・スチーム噴出孔のお手入れをされていますか。 処置 p.16の「お手入れの仕方」を見て清掃してください。
コードリール									●				①一度少し電源コードを引き出し、ゆっくり戻すように巻き取ります。 ②電源コードのよじれがあれば直してからゆっくり戻す。
かけ面								●					かけ面に何か付着物等が付いていませんか。 処置 かけ面が熱いうちに、付着物をぬれた布で拭きとってください。
繊維製品の絵表示										●			温度設定表示は布地に合った適切な位置になっていますか。 処置 温度設定表示を適温に合わせ直すか、あて布をしてください。

※以上の事をお調べいただき、それでも直らない場合は、ご自分で修理な
さず、お買い上げの販売店までお問い合わせください。詳しくは、18ページ
「保証とアフターサービス」をご参照ください。

仕 様

定 格	100V－1170W 50/60Hz	電 源 コ ー ド	約1.5m コードリール付
蒸気発生方法	滴下式	温度調節範囲	約120℃～約200℃ (L・M・H 3段階設定・OFF)
寸 法	(アイロン) 長さ232×幅111×高さ132mm	温度過昇防止装置	温度ヒューズ 240℃
	(収 納 時) 長さ281×幅178×高さ203mm	付 属 品	給水カップ(約200ml)
質 量	(アイロン) 約 0.9kg	かけ面の面積	約155cm ²
	(収 納 時) 約 2.0kg	水タンク容量	約200ml

保証とアフターサービス

修理・お取扱い・お手入れなどのご相談

まず、お買い上げの販売店にお申し付けください。

保証書について

必ず、お買い上げの販売店から
お買い上げ日・販売店名などの
記入をお確かめのうえ受け取
り、よくお読みのあと、大切に
保管してください。

保証期間：お買上げ日から1年間
詳しくは裏表紙の保証規定を
ご確認ください。

修理を依頼されるとき

使用中に異常が生じた場合は、必ず差込プラグをコンセントより抜いてお買い上げの販売店、電気店ま
たはシユア－お客様ご相談センターへお問い合わせください。

保証期間中は
保証期間が過ぎているときは

保証書の規定に従って、お買い
上げ販売店が修理させていた
だきます。恐れ入りますが、製
品に保証書を添えてご持参くだ
さい。

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理さ
せていただきます。ただし、補修用性能部品の最低保有期間は、製
造打ち切り後5年です。
注)性能部品とは、その製品の性能を維持するために必要な部品です。

長年ご愛用のコードレスアイロンの点検を！ / このような症状はありませんか



愛情点検

- 差込プラグやコードが異常に熱い。
- コゲくさい臭いがする。
- 電源コードを動かすと通電したり、しなかったりする。
- 本体に触れるとビリビリと電気を感じる。
- その他の異常、故障がある。

このようなときは、ご使用を中止して
ください。事故防止のため、必ず販売
店に点検修理をご相談ください。

株式会社 石崎電機製作所	本 社	東日本営業所	西日本営業所
	〒111-0051	〒111-0051	〒550-0013
	東京都台東区蔵前3-5-15	東京都台東区蔵前3-5-15	大阪市西区新町1-25-7
		TEL.03-5687-7031	TEL.06-6541-3893